

5月19日のゲストスピーカーの佐藤佳子さん(NPO法人 中信多文化共生ネットワーク、文化庁日本語教育事業コーディネーター・松本市多文化共生プラザ相談員)からご指定いただいた事前課題です。(松尾が依頼して、課題を考えていただきました)。必ず以下を読み、感じたことや追加して調べたことを「学びのノート」に書いてください。

1. 『「一人多役型」実践者事例集』(長野県作成)

ケース08・p.20-21に、佐藤佳子の事例が掲載されています。

ファイルが重いので、もし見られない場合は添付のpdf。(「長野県冊子」佐藤の記事のみ取り出し)をご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/rodokoyo/sangyo/rodo/work-life/hitoritayakugata.html>

※ライターさんの聞き書きなので、正確でないところもありますが、私の自己紹介がわりとしたいと思います。

2. 松本市内に住む外国人の活躍事例(4名)(「タウン情報」信濃毎日新聞社)

添付のpdfファイル「タウン情報H29.1.1.」をご覧ください。

(pdfファイルは、HPに載せます。松尾注)

※私たちがふだんサポート・連携している外国人について、地元主要紙の新年特別号に取り上げてもらったものです。

外国人住民の生の声としてお読みください。

3. 田中宝紀さんのYahooニュース記事(H29.1.9.)

「外国人との共生社会へー新成人世代こそが担える役割とは」

<https://news.yahoo.co.jp/byline/tanakaiki/20170109-00066393/>

※成人を迎える日本人に向けて田中宝紀さんが書かれた記事です。

これを読んで、受講されるみなさんには、

「これまであるいは現在、どんな外国人(外国ルーツの人)がまわりにいたか/いるか」を、当日までに考えてきていただきたいと思います。